

【3】遊休地の有効活用

〈現状と課題〉

旧口名田保育所跡地（約1,500㎡）は、駐車場として一部利用されていますが、現在、有効に活用されているとは言えません。また、公民館前の遊休地なども利用価値の高い空き地です。遊休農地で利用の目途がたっていないものも、各地に点在しています。これらを地区民のふれあいや憩いの場所として有効利用する必要があります。

〈対策と計画〉

- ① 旧保育所跡地については、地区民のふれあいや憩いの場所として整備し、将来的には市の地域福祉センターとなるよう努めます。
- ② 利用の目途がたない遊休農地については、花壇や遊園地、ゲートボール場などが一体となった地区民のふれあい広場（ミニ公園）として活用します。



旧保育所跡地の利用計画の一例

【4】大黒山登山道の整備

〈現状と課題〉

大黒山は小学校校歌にも謳われた地区のシンボリックな存在であり、頂上は口名田地区全体を展望できる山です。しかし急峻な箇所もあり、現状では気軽に登山が楽しめる状況にはありません。

〈対策と計画〉

- ① 大黒山が気軽に登山を楽しみ、健康の増進を図れる山にするため、登山道の整備を図ります。

2、対話交流の盛んな、活力あるむらづくり

【1】公民館等を拠点とした交流事業の拡充

〈現状と課題〉

現在、公民館を利用したサークル活動

- a、もみじ会（舞踊・着付け） b、ロマンホール教室 c、生花教室 d、スポーツダンス教室 e、料理教室 f、短歌会 g、冠句会

小学校体育館を利用したサークル活動

- a、バドミントンサークル b、高齢者ミニソフトバレー c、女子バレー d、婦人ソフトバレー

市総合運動場を利用した活動
 a、各集落のゲートボール b、マレットゴルフ
 c、グランドゴルフ d、野球 e、
 ソフトボール f、テニス

しかし、地区民のニーズは多様であり、
 文化・スポーツ活動を更に活性化して、地
 区民の対話交流を深めることが望ましい。

〈対策と計画〉

- ① 文化・スポーツ活動への参加を促すとともに、これらのグループ活動を支援し、それに必要な施設の充実を計ります。
- ② 地区民のニーズに応じて、各種講座の拡充を計ります。



マレットゴルフ (運動公園)



三世代交流事業 (西相生で)

【2】三世代交流事業の促進

〈現状と課題〉

現在、三世代交流事業として、米作り、そば作り、鮎つかみ、親子餅つき大会等が行われています。子供達が親や高齢者と交流を深め、いろいろの体験をすることは、子供達の将来と地域の活性化のためにも望ましいことです。今後も、この事業の発展に努めます。

〈対策と計画〉

- ① 現在行われている三世代交流事業を継続し充実させます。
- ② さらに、この事業の拡大として、a、親子料理教室 b、郷土食試食会
 c、三世代交流ゲートボール大会 d、囲碁教室 e、親子物づくり教室
 等の新しい事業の開催に努めます。

【3】伝統文化、芸能の保存

〈現状と課題〉

現在、口名田地区には次のような伝統文化、
 芸能が残されています。a、氏神祭礼での「浦
 安の舞」(若宮神社、八幡神社) b、子ども
 御輿(谷田部) c、大太鼓(東相生) d、か
 ぶら祭り(口田縄、須縄、谷田部) e、盆踊
 り(下中井、須縄) f、地藏盆(東相生、口
 田縄、新滝、谷田部) g、水神祭り(東相生) h、松上げ(西相生、滝谷)
 i、山の神講・地の神講(西相生、上中井) j、どんど焼き(上中井) k、お火
 焚き(上中井、滝谷、口田縄) l、数珠くり(新滝) m、六齋念仏(西相生)



滝谷の六齋念仏

これらを次世代に継承していく必要があります。しかし、少子化の影響もあって、その継承や後継者の確保が課題となっています。

〈対策と計画〉

- ① 伝統文化、芸能の保護と伝承に努めます。
- ② 新しく復刻された「口名田音頭」の普及に努めます。



口名田ふるさと祭り

3、自主協調性のあるむらづくり

総参加型事業の見直しと推進

〈現状と課題〉

地区内では、地域総参加型の事業として、地区民体育大会とふるさと祭りがあります。しかし、レジャーの多様化や地域の連帯感が弱まっていること、職場や友人関係の交流が優先されることから、地域総参加型事業への関心がうすれてきています。また、行事のマンネリ化もこの事業へ参加しない原因になっていると考えられます。

そこで、総参加型事業を見直しさらに新しい総参加型事業の充実を図る必要があります。

〈対策と計画〉

- ① 地区民体育大会について検討を加え、その充実を図ります。その場合、
 - a、レクリエーション的なオープン競技を増やす。
 - b、体力測定的なプログラムを加味する。
 - c、健康づくりのための出前教室を開催する。
 - d、トラック競技は個人種目として復活する。
- ② ふるさと祭りについても検討を加え、充実を図ります。その場合、
 - a、舞台演目の多様化を図る。
 - b、「口名田音頭」を活用する。
 - c、他地区のサークルやボランティア団体の出演を依頼する。
 - d、特技を持った人を発掘し、出演を依頼する。
 - e、ステージ発表以外の催し（展示、大鍋、踊り大会）を充実させる。
- ③ 次のような地域総参加型事業についても検討し、住民の交流の拡大に努めます。
 - a、ふるさと発見ウォーク大会
 - b、家族参加の山登り大会
 - c、「口名田音頭」の普及
 - d、総合運動場花いっぱい運動

区民参加の山登り
(西相生)



『参加なくして地域の活性化なし』の意識を啓発し、地区民こぞって対話と交流による快適なむらづくりをめざしたいと思います。

第5章 生涯教育の充実をめざした 地域社会の創造

基本構想

地区内の歴史や文化を大切にし、豊かな自然を学習の場とする地域社会をめざします。また、子どもからお年寄りまで安心して暮らせ、いつでも、だれでも楽しく学べる機会や施設の充実を計ります。

基本計画

1、地域の文化や歴史を理解する施策

〈現状と課題〉

口名田地区には古い歴史や多くの文化財があり、『口名田郷土誌』も発行されています。しかし、それを知るための具体的な機会や方策が充分とはいえません。そこで、地域の歴史や文化財を理解するために具体的な施策が必要です。

〈対策と計画〉

- ① 各集落の歴史や文化財を知るためのガイドマップを作成し、冊子にして地区内の歴史散策に役立てます。
- ② 地区内の寺院、史跡、文化財などに案内板を立て、歴史の理解に役立てます。
- ③ 景観のすぐれた滝や城跡、峠などの保全や整備をすすめます。

2、自然とふれあい、親しむための施策

〈現状と課題〉

当地区は豊かな自然環境に恵まれています。地域を取り巻く山々、緑豊かな田園、美しい渓谷など、自然に親しむには最高の環境です。しかし、その環境も今のところ整備が不十分で、ほとんど利用されていません。

〈対策と計画〉

- ① 身近な動植物の観察や、ほたるやとんぼ、めだかなどが生息できる「里山公園」を建設し、自然と親しむ環境を作ります。
- ② 奥田縄の滝を中心に周辺の整備をすすめ、家族や仲間キャンプを楽しめる「憩いの森」を建設します。
- ③ 飯盛山、多田ヶ岳、大黒山など親しみのある山への登山道を整備し、自然とのふれあいや健康の増進に役立てます。



須縄の滝

3、豊かな暮らしと文化活動の充実

〈現状と課題〉

当地区には600世帯、2,200人の人々が暮らし、さまざまな地域活動をしています。しかし、その活動の拠点となる公共施設は今のところ公民館だけです。しかも、その公民館も手狭になってきました。今後、さらに地域の活動をすすめるためには、もっとさまざまな公共施設が必要となっています。

〈対策と計画〉

- ① 生涯学習の場として、各種講座の開設やサークル活動の充実につとめます。
- ② 産業、文化、体育の祭典として、ふるさと祭りや地区民体育祭をさらに充実させます。
- ③ こうした地域活動を支援するために、公民館の建て替えまたは多目的会館の建設をすすめます。

4、子どもと高齢者への支援活動

〈現状と課題〉

働く婦人の子育てを支え、高齢者には団らんと憩いの場を提供することは、住みよい地域づくりに最も大切なことがらです。しかし、今のところ常設の子育て支援施設も高齢者の憩いの場所もありません。共働きの家庭を支援し、高齢者の暮らしにやさしい手を差し伸べるために、それぞれの目的に応じた施設の設置が必要です。

〈対策と計画〉

- ① 子育ての不安を解消するために「子育て支援広場」を設けます。
- ② 共働きの家庭に放課後の児童を預かる「学童保育所」か「児童館」のような施設を設置します。
- ③ 区の集会場や空き家などを利用して「高齢者憩いの場」を設けます。



口名田保育園での子育て支援教室

口名田地区の指定文化財一覧

(物件)	(名 称)	(指定区分)	(所在地)	(管理 者)
彫 刻	木造薬師如来坐像	県 指 定	谷 田 部	谷田部区
”	木造狛犬 1対	市 指 定	谷 田 部	谷 田 寺
絵 画	絹本著色仏涅槃図	県 指 定	谷 田 部	谷 田 寺
彫 刻	木造十一面観音立像	市 指 定	須 縄	大 智 寺
”	木造千手観音菩薩立像	国 指 定	谷 田 部	谷 田 寺
”	木造毘沙門天立像	国 指 定	谷 田 部	谷 田 寺
”	木造不動明王立像	国 指 定	谷 田 部	谷 田 寺
”	木造大黒天立像	市 指 定	谷 田 部	谷 田 寺
史 跡	大塩城跡	市 指 定	口 田 縄	口田縄区
絵 画	絹本著色潤甫周玉肖像	市 指 定	谷 田 部	雲 外 寺
典 籍	瑞方面山述賛永平正法眼蔵	市 指 定	奥 田 縄	永 福 庵
書 籍	絹本墨書永平祖師真影之賛	市 指 定	奥 田 縄	永 福 庵
天 然 記念物	妙祐寺のしだれ桜	市 指 定	上 中 井	妙 祐 寺



木造十一面観音立像 (大智寺)

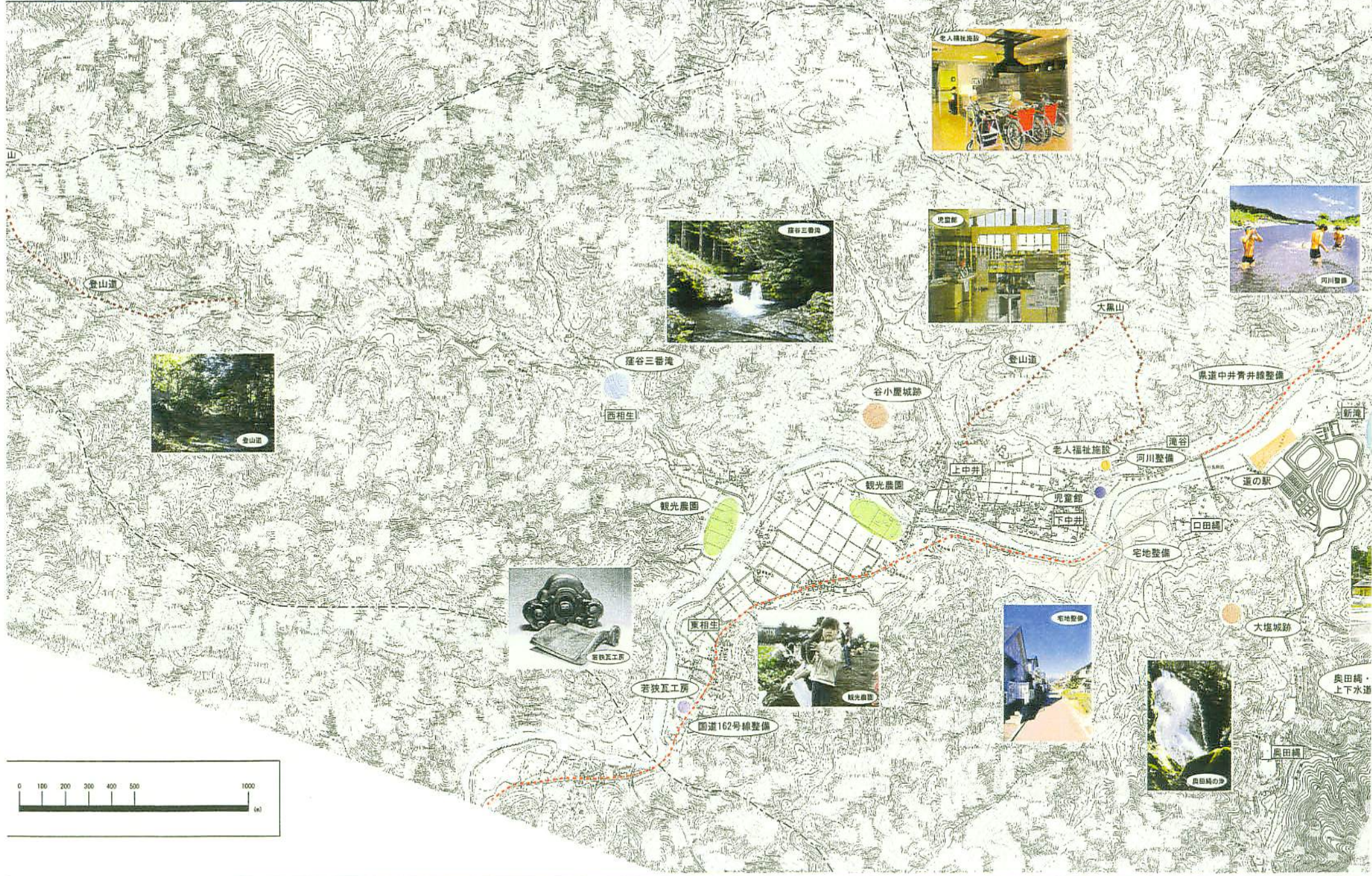


木造大黒天立像 (谷田寺)

口名田地区振興実施計画（基本計画の実施目標）表

章別	基本計画の実施項目	実施目標			実施主体			
		短期	中期	長期	地区	小浜市	福井県	
第1章 生活環境	【1】地区内の交通網の整備							
	国道162号整備促進の組織づくり		○		○	○	○	
	国道（162号）と県道（中井・青井線）交差点の信号設置	○				○	○	
	県道（中井・青井線）の整備促進同盟会の組織見直し	○			○			
	県道（中井・青井線）の谷田部・滝谷間の拡幅改良		○		○		○	
	舞鶴若狭自動車道・敦賀ICまでの早期完成		○			○	○	
	広域農道西街道・南川架橋工事の早期完成	○				○	○	
	【2】南川流域の環境整備							
	南川（尾須橋端・飛川橋間）河川改修と口名田小学校対岸に河川親水公園の新設整備			○			○	
	建設残土を整備し植樹、緑地化等有効利用		○		○	○		
	【3】治安（防犯、防火、交通安全）体制の確立							
	自主消防組織の全集落での早期組織化	○			○			
	交通指導員、交通安全協会口名田支部との連携による交通安全活動の推進	○			○			
	口名田地区内防災マップの作成と防災対策	○			○	○		
	【4】上下水道未整備地区の解消							
上水道未整備集落の早期解消と促進組織結成	○			○	○			
下水道未整備3集落の早期事業推進	○			○	○			
【5】生活環境美化運動の推進								
環境美化推進委員による不法投棄対策と美化推進運動	○			○				
廃品回収によるゴミ減量化とリサイクル運動の推進、有機栽培への活用	○			○				
排土処理は建設産業との共生を図り、安全環境を監視する委員会の早期組織化を推進	○			○	○			
第2章 産業の育成	【1】地産地消を目指した近郊農業の振興							
	稲作の安心安全を確保する無農薬栽培の推進	○			○	○		
	伝統野菜の広域栽培、販路拡大、ブランド化の推進		○		○	○		
	わかさJAが推進する野菜、花卉の栽培推進	○			○	○		
	生産物の販路拡大として朝市の充実、学校給食への食材提供など地産地消の推進	○			○	○		
	【2】市街地住民との体験・交流の推進							
	遊休地を利用した「口名田お楽しみ公園」の設置		○		○	○		
	子供と高齢者が集う教育農園を集落単位に設置	○			○	○		
	四季を通じて果物が収穫できる「もぎとり公園（観光公園）」を交流や働く場として設置		○		○	○		
	【3】道の駅の誘致と「いよしの川」づくり							
	総合運動公園付近に「道の駅」を設置		○		○	○	○	
	道の駅周辺に桜、紅葉を植栽し、安らぎ、いよしの公園を設置		○		○	○	○	
	あゆ、アマゴなど川魚を放流した「河川小公園」の設置		○		○	○	○	
	第3章 長寿福祉	【1】健康意識の啓発						
		高齢者など各種団体による健康意識の高揚	○			○	○	
集団検診など健康診断受診の啓発啓蒙運動		○			○	○		
食生活改善普及の地域運動の推進		○			○	○		
【2】ひきこもり意識からの解放								
体力の維持増進を図る趣味、サークル活動の推進			○		○	○		
豊かな情操を養うサークル活動への参加意識の高揚		○			○	○		
日常生活の対話の場として「ふれあいサロン」を各集落に設置			○		○	○		
【3】高齢社会に対応した施設および活動								
医師が常駐する医療施設の設置を推進			○		○	○	○	
一人暮らしや老人世帯の手助けをする、高齢者支援ボランティアの組織化			○		○	○		
軽度の要介護者を一時的に預かる施設委託所（託老所）の設置			○		○	○		
月2回程度の無償給食を実施する組織の設立		○			○	○		
第4章 対話と交流		【1】快適な環境のむらづくり						
		軽スポーツを楽しむために市総合運動場の積極的な活用の推進	○			○	○	
	文化活動、児童センター、託老所等複合施設の建設促進		○		○	○		
	南川・飛川橋周辺に雨避けを併設した遊泳場を整備		○		○	○	○	
	国道162号沿線の丘陵地に市営青少年キャンプ場を誘致			○	○	○	○	
	南川沿線に桜、銀杏等を植樹し、景観散策道を整備			○	○	○	○	
	旧保育所跡地に区民ふれあいの場として地域福祉センターを設置		○		○	○		
	遊休農地を活用し花壇、遊園地、ゲートボール場を整備して「ふれあい公園」を設置		○		○	○		
	大黒山に健康増進が図られる登山道を整備	○			○	○		
	【2】対話交流の盛んな活力あるむらづくり							
	文化、スポーツ活動の充実と施設の整備		○		○	○		
	地区民に密着した各種講座の充実	○			○	○		
	三世交代交流事業の促進充実	○			○	○		
	三世交代交流事業の事業拡大と新規事業の推進	○			○	○		
	伝統文化、芸能の保護と継承の推進	○			○	○		
復刻版「口名田音頭」の普及と継承	○			○	○			
【3】自主協働性のあるむらづくり								
地区民体育大会の充実と継続	○			○	○			
口名田ふるさとまつりの充実	○			○	○			
ふるさと発見ウォーク大会など地域参加型事業の推進	○			○	○			
第5章 生涯教育	【1】地域の文化や歴史を理解する施策							
	集落別の歴史、文化財のガイドマップを作成し、地区内の集落歴史散策に利活用	○			○	○		
	地区内の寺院、史跡、文化財等に案内板を設置し、歴史の理解と保存を図る	○			○	○		
	景観の優れた滝、城址、峠などの保全と整備を推進	○			○	○		
	【2】自然とふれあい、親しむための施策							
	身近な動植物の観察や、蛭、トンボ、メダカ等が生息できる「里山公園」の建設		○		○	○	○	
	奥田縄の滝の周辺整備とキャンプが楽しめる「憩いの森」の建設整備		○		○	○	○	
	飯盛山、多田ヶ岳、大黒山への登山道の整備を行い自然とのふれあい、健康増進を図る	○			○	○		
	【3】豊かな暮らしと文化活動の充実							
	生涯活動の場として各種講座等活動の充実	○			○	○		
	産業、文化、体育の祭典として、ふるさと祭、地区民体育祭の充実	○			○	○		
	地域活動の場として公民館の改築または多目的会館の建設を目指す		○		○	○	○	
	【1】子供と高齢者への支援活動							
	子育ての不安解消するため「子育て支援広場」の設置	○			○	○		
	共働き家庭の児童を預かる「学童保育所」または「児童館」の建設		○		○	○		
各集落の集会所または空家を利用して「高齢者憩いの場」を設置	○			○	○			

口名田いきいきむらづくり構想図





広域農道西街道

舞鶴若狭自動車道

谷田部城跡

谷田部城跡



老人福祉施設



滝谷五郎滝



児童館



河川整備



温泉施設

国道162号線整備

滝谷三番滝

相生

谷小屋城跡

登山道

奥田線中井青井線整備

須縄



里山公園

里山公園 観光農園

観光農園

観光農園

老人福祉施設

河川整備

滝の駅

児童館

下中井

口台橋

宅地整備



滝の駅

森林公園 キャンプ場



森林公園 キャンプ場

東相生



観光農園



宅地整備

大塩城跡

奥田線・新滝・須縄3地区の
上下水道整備

奥田線

須縄の滝



須縄の滝

多田ヶ岳登山道



前田川の滝

**口名田地区
歴史ガイドマップ**

口名田いきいき創生会
教育振興委員会作成

東相生ガイドマップ



●若宮神社

古くから四名(桂・窪谷・五十谷・飛川)の氏神とされてきた。延文3年(1358)の造宮といわれる。現在の社は大正15年(1926)に建て替えられたもの。



●興禅寺

五十谷の城主寺井氏の菩提寺として建てられた曹洞宗の寺。明應5年(1496)に開山で、名田庄一円に26ヶ寺の末寺を持つ名刹であった。山門は寛政11年(1799)の建立。



●桂の木と公孫樹の木

桂の木は「桂木村」の地名のもとになったといわれ、樹齢は500年くらいと思われる。公孫樹の秋の黄葉は見事で通行人の目を引く。



●西行清水

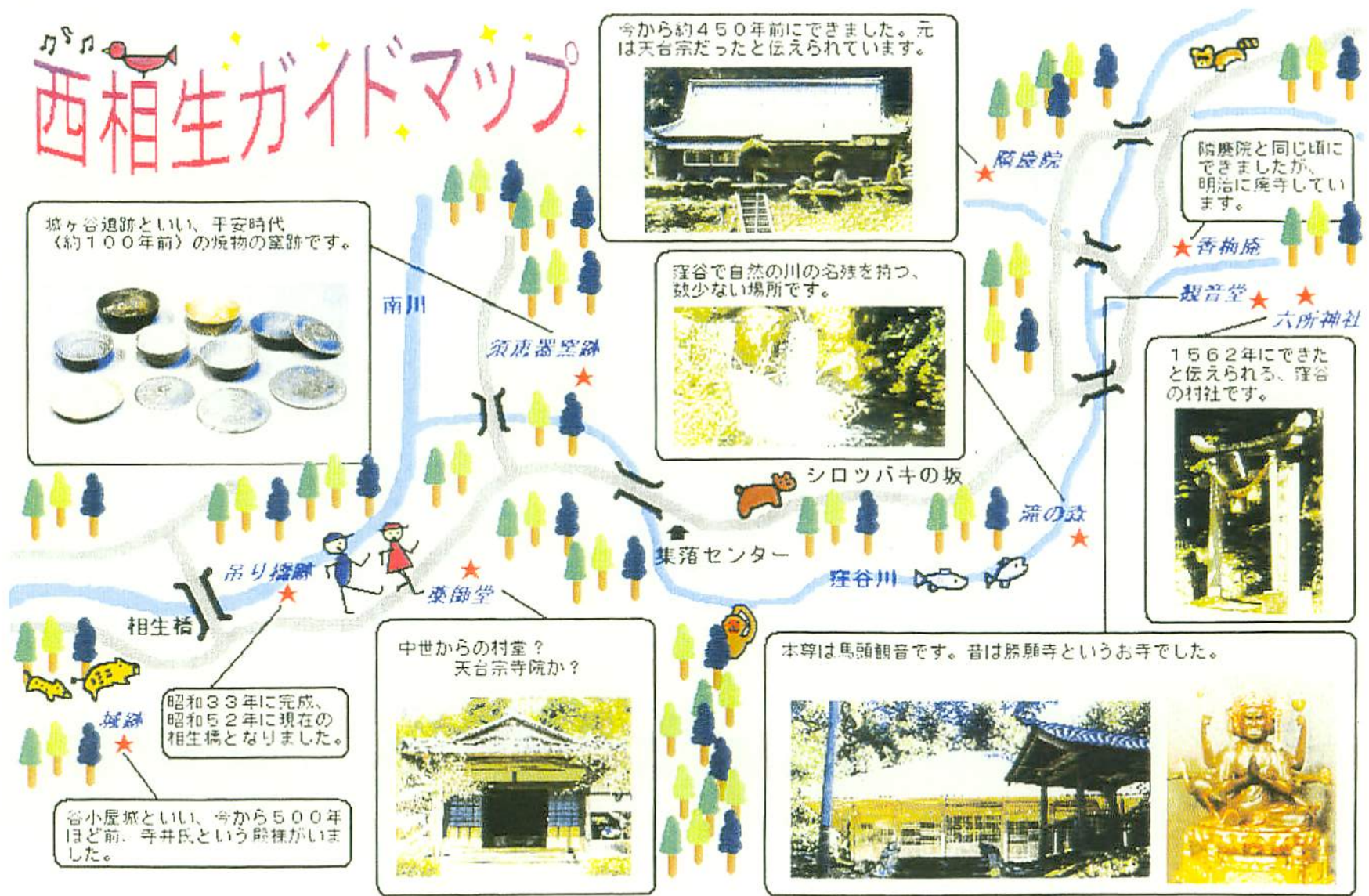
西行法師が廻国してきた時、土地の人に掘らせたという清水。今もきれいな湧き水が出ている。



●了源寺

永正8年(1511)の建立といわれ、浄土真宗の寺。現在の寺は昭和51年に建てられた。蓮如上人の腰掛け石といわれる石がある。

西相生ガイドマップ



城ヶ谷遺跡といい、平安時代
(約100年前)の焼物の窯跡です。

今から約450年前にできました。元
は天台宗だったと伝えられています。

窪谷で自然の川の名残を持つ、
数少ない場所です。

薩摩院と同じ頃に
できましたが、
明治に廃寺してい
ます。

★香梅庵

製音堂★ ★

六所神社

1562年にできたと
伝えられる、窪谷
の村社です。

相生橋

昭和33年に完成、
昭和52年に現在の
相生橋となりました。

城跡

中世からの村堂？
天台宗寺院か？

本尊は馬頭観音です。昔は勝願寺というお寺でした。

上中井ガイドマップ



谷小屋城跡
 戦国時代、寺井氏3代H兵部少輔が築いたといわれている山城の跡。天正11年、豊臣秀吉の家臣、丹羽長秀の手により落城した。

しだれ桜
 小浜市天然記念物。明治初年、身延山参りをした古谷徳蔵氏が苗木を持ち帰り植樹したといわれている。

妙見宮
 明治33年、三重の山本嘉右衛門氏が祀っていた北辰妙見菩薩を妙祐寺裏山の中腹にお堂を建て勧請した。現在の妙見宮は平成10年、山の中腹から八幡宮の北隣に移転、再建したもの。

妙祐寺
 天正13年に建立される。現在の木堂は昭和12年に日蓮上人滅650年遠忌を記念して再建されたもの。平成13年に屋根瓦を銅版に葺き替える。

下中井・滝谷ガイドマップ



大黒山

日名田小学校の校歌に
もうたわれている山。
標高413メートル。
松たけも採れる



忠霊塔

「聖戦」に護国の
華と散った
忠勇兵士の霊
を顕彰するた
めに昭和18年
に建立され戦
後に現在の地
へ移転してい
る



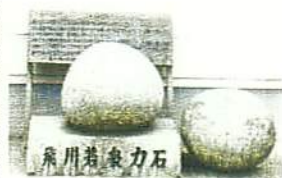
天満宮

創建は延宝8年
(1680年)で建
立当初の1棟札
が残っている



蓮如の腰かけ石

西広寺の境内には蓮如上人が巡
行で訪れた時の足跡を示すもの
として「腰かけ石」が大切にさ
れている



飛川若衆力石

飛川若衆力石

下中井住民センターの入
口には昔飛川村の若者が
力試しにかかえ上げ力を
競い合った力石が置かれ
ている



松上げ

愛宕さんにお灯明を挙げて
区民の無病息災、火の
用心を祈願するものとし
て毎年8月23日に行われ
ている

口田縄ガイドマップ



春日神社

永正元年(1504)の創建
城主大塩吉信の守護神
で春日大明神と呼んだ
という。



大塩城 障子堀

寛正6年(1465)大塩吉信
が築城。海拔134mで、
南川流域を一望できる
戦略要地関西地方では
めずらしい障子堀の跡
が残っている。市の指
定史跡。



口名田公民館

口名田小

井中線

JA口名田支店

口名田保育園

市総合運動場

春日神社

大光寺

大塩城址



日輪山 大光寺

文明元年(1469)大塩吉信が
建立。大塩氏代々の牌所で
あった。



石書大般若経六百卷塔

ひ飛
こ口
だん谷
川

奥
田
縄
川

国道162号線

中井

南川

堤

奥田縄ガイドマップ



緩詰又助の碑
又助は江戸時代に区民の難儀を救った義民。



日枝神社
古くは山王権現といわれ、延宝六年(1678年)の創建という。立派な御輿が保存されている。



奥田縄の滝
高さ十五メートル余り。夏、かわいいイワタバコの花が岩肌にあく。市の名勝に指定されている。

奥田縄の滝



永福庵
而山和尚ゆかりの曹洞宗のお寺。市の文化財に指定された多くの遺品が残っている。



浄証寺
寛正六年(1465年)の創建と伝えられる浄土真宗のお寺

新滝区ガイドマップ!



R162

この道標古碑は、面山へ向かう山道で、かつては奥田繩川への入口であった。



南川

道標古碑

新滝

須繩

須繩川

口田繩



市後合運動場

カヤの古木

小讃岐神社

小浜市総合運動場は、面積14ha、陸上競技場をはじめ多目的グラウンドを備えた総合運動場で、平成6年にオープンした。



カヤの古木は目通り3.3m、樹齢は400年以上と、思われざる。主幹が折れ曲がり、遠くのように伸びた古木である。

奥田繩

奥田繩川



小讃岐神社は新滝区の開発を許可した小浜藩初代藩主・酒井忠勝を祀る神社。



須理の大滝

十一面観音立像(皇・市重文)



長龍寺
 みなご谷大滝に由来した寺で泰澄大師が諸国巡礼の時に建立した寺とされている。江戸初期には廃寺となっている。天保16年慈智の泰澄大師が彫刻したと言われる。十一面観音菩薩は、熊野神社の隣の観音堂に安置して祀る。17年毎の開帳は盛大である。

須理大滝
 みなご谷
 長龍寺跡地

奥地蔵堂

観音堂



熊野神社
 社伝によれば「天下16年長龍寺伽藍擁護のために熊野権現を勧請す」と言う。
 大正4年1月16日指定村社となる。

熊野神社



大智寺

ふれあい会館



ふれあい会館
 平成7年に区民のふれあいの場として建設し現在は、区民憩いの場として活用している。

大智寺
 寛文3年鎌倉北条家の末孫北田幸祐が開基となり、妙徳寺元瑞和尚を開山に請じて創建された。
 その後、福聚山無量寺と合併して慧照山大智寺に改め区民の菩提寺となる。昭和54年に現在地に新築する。



道しるべ
 須理区入口に嘉永2年係左衛門が建てる。

尾須の鼻

至小浜

国道 162 号

地蔵堂

バス停

須理橋

谷須奥橋

南川

至谷田部

山の神
 祈籠

須理ガイドマップ

谷田部 ガイドマップ

至・小浜

谷田部峠

谷田部トンネル

小浜市クリーンセンター

景道中井青井線

農業集落排水処理場

小浜市上水道水源地

薬師堂

若宮八幡神社

雲外寺

長徳寺

住民センター

谷田部バス停

谷田寺

梅千代会館

ふるさと公園

谷田寺仁王門

池ノ明神

南川

木造契師如母像

この像は、藤原時代末期ごろの作で、材質は漆の木とみられており、寄木造りで左手に薬壺を持ち時代の特色を示している。昭和45年5月8日福井県の文化財に指定されている。



石塔婆

谷田寺参道の仁王門手前に一本の樫の木があり、その根元に「石塔婆」がある。塔婆は石垣で囲まれ、聖域を形成している。古くから樫み事などを晴らすために、花三つ時にお参り(祈願)する人がある。



谷田部「ふれあい朝市」

平成14年6月に小浜市梅千代会館が竣工したことを機に、会館の広場を会場に「朝市」が「ふれあい朝市・谷田部梅千代会」の会員によって開設されている。開設日は、毎週日曜日の午前8時から9時(宗王)まで地元の朝取りの新鮮な野菜が販売されている。



池ノ明神

池ノ明神を祀っている小集落は池ノ明神町であり、この明神は火の神様として本祭典は毎年1月5日となっている。しかし、昔から町内輪番制で毎月1日を例祭の日と定め、町内区民が信仰を深めている。

至・中井

稲荷前バス停

谷須具橋

口名田地区

住民アンケート調査の結果報告について

小浜市は平成13年4月に第四次小浜市総合計画を策定し、将来の都市像を『心やすらぐ美食の郷・御食国若狭おばま』と定めた、食のまちづくりを目指す将来計画をたてられました。

また、翌14年4月には、まちづくりの基本となる全国初の『食のまちづくり条例』を施行し、具体的な『まちづくり』の方策を示されました。この条例の第4章第16条に地区振興計画の策定を定めた条項がございます。この地区振興計画は、市民が主体となって取り組む事業については、「地区の市民によって定める」と規定されています。

従って、口名田地区におきましても平成14年12月に地区振興計画を策定するために『口名田いきいき創生会』を設立して、計画の内容等を検討するため五つの委員会を設けて、いろいろな課題について討議してまいりました。

このアンケートは、計画策定の過程で地区内における問題点の抽出や、課題等を精査するために、平成14年10月25日より11月5日までの期間に実施したものであります。

この結果は、計画策定の参考資料として役立たせていただき、この度の計画書策定に活用させていただいた次第であります。

ここに、アンケート調査にご協力いただきました地区民の皆様に改めて厚くお礼申し上げます。

口名田いきいき創生会